

INFORMATION SUPPLY SYSTEM USING POCKET BEEPER

Veröffentlichungsnr. (Sek.) JP8307921
Veröffentlichungsdatum : 1996-11-22
Erfinder : TANIGUCHI NAOYUKI
Anmelder : NEC CORP
Veröffentlichungsnummer : JP8307921
Aktenzeichen:
(EPIDOS-INPADOC-normiert) JP19950129776 19950428
Prioritätsaktenzeichen:
(EPIDOS-INPADOC-normiert)
Klassifikationssymbol (IPC) : H04Q7/16; G06F19/00; H04H1/00; H04M3/42; H04M11/08
Klassifikationssymbol (EC) :
Korrespondierende Patentschriften JP2770779B2

Bibliographische Daten

PURPOSE: To provide a system where information which a user desires such as the games of horse racing and bicycle races or the reference to the sale and the winning numbers of a public lottery through the use of a portable terminal (pocket beeper) on a real time with a simple operation.

CONSTITUTION: A reservation registration means 11 registering inputted reserved information, a reservation update means 12 updating information data on the day in accordance with prescribed division when the date of the day is matched with a reserved date based on reserved information, a monitor means 13 which reads information data when supply time of information data on the day is matched with reserved present time and works it in accordance with the user and a guide means 14 transferring worked data to the pocket beeper which the user possesses in accordance with individual information of the user are provided.

Daten aus der esp@cenet Datenbank --I2

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-307921

(43)公開日 平成8年(1996)11月22日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 Q 7/16			H 0 4 B 7/26	1 0 3 L
G 0 6 F 19/00			H 0 4 H 1/00	G
H 0 4 H 1/00			H 0 4 M 3/42	1 0 2
H 0 4 M 3/42	1 0 2		11/08	
11/08			G 0 6 F 15/28	Z
			審査請求 有	請求項の数3 F D (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平7-129776

(22)出願日 平成7年(1995)4月28日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 谷口 直行

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

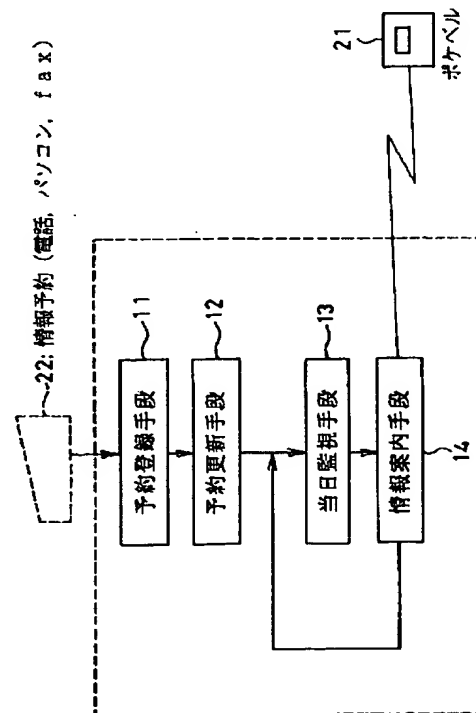
(74)代理人 弁理士 加藤 朝道

(54)【発明の名称】 ポケベルを利用した情報提供システム

(57)【要約】

【目的】競馬や競輪等の競技、あるいは宝くじ等の発売及び当選番号の照会を携帯端末（ポケベル）の利用によって利用者が所望する情報を簡易な操作によりリアルタイムに行なうことを可能とするシステムの提供。

【構成】入力された予約情報を登録する予約登録手段と、予約情報に基づき当日の日付と予約日付とが一致した場合に当日の情報データを所定の区分に応じて更新する予約更新手段と、当日情報データの提供時刻が予約された現在時刻と一致した際に情報データを読み込み利用者に応じて加工する監視手段と、利用者の個人情報に応じて加工されたデータを利用者が所持するポケットベルに転送する案内手段と、を備える。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 利用者が所望する情報の要求を予めセンタに登録し、

前記センタが該センタに収集された情報から前記利用者が所望するデータに加工し、

前記利用者が所持する携帯端末（ポケットベル）に対して情報を通知することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 2】 前記センタが、

入力された予約情報を登録する予約登録手段と、

予約情報に基づき当日の日付と予約日付とが一致した場合に当日の情報データを所定の区分に応じて更新する予約更新手段と、

前記当日情報データの提供時刻が現在時刻と一致した際に情報データを読み込み前記利用者に応じて加工する監視手段と、

前記利用者の個人情報に応じて前記加工されたデータを前記利用者が所持するポケットベルに転送する案内手段と、

を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の情報提供システム。

【請求項 3】 前記現在時刻が予め定められた所定の運用時間帯の範囲内にある時に、

前記当日情報データの提供時刻が現在時刻と一致するまで所定の時間間隔毎にウェイト処理を行なうことを特徴とする請求項 2 記載の情報提供システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、競馬や競輪等の競技、あるいは宝くじ等の発売及び当選番号の照会結果をコンピュータを利用して通知するシステムに関し、特に携帯端末（ポケットベル）を利用して会員へ通知するシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、競馬や競輪等の競技、あるいは宝くじ等の発売及び当選番号の利用者への情報伝達としては、通常、新聞・雑誌等、あるいはＴＶ（テレビ）、ラジオ等の媒体が利用され、さらに近時パソコン等による通知方法が利用されるに至っている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、新聞・雑誌等の媒体による通知方法の場合、情報の提供に若干の遅れが生じる傾向にある（新聞が発行され入手するまでの時間遅延等）。また、全ての人が一般的な情報の提供を期待している訳ではない。各人にとっての優先度の高い情報というのは個人毎にバラバラであり、一般的に、個人特有の情報を各人に合わせて提供することはあまり見られない。

【0004】 なお、センタから事象の完了等をポケットベル（「ポケベル」ともいう）を介して通知するシステムとして、例えば特公昭 63-22495 号公報には、

利用者が時刻と伝達メッセージと相手を予めシステムに登録し、登録した時刻になった時点でシステムから相手を出し、音声応答等により伝達メッセージを伝えたり、利用者がシステムに対して通知依頼を登録し、依頼事象が完了した時点でシステムから利用者を出し、事象内容を音声応答等により伝える通知処理方式において、ポケットベルの呼出しにより事象発生を利用者に通知し、利用者が自由に電話機の端末から離れることができたり、端末呼出しを意識することなく他の仕事に専念できるようにした方式が提案されている。しかしながら、上記公報には、ポケットベルは呼出しにより依頼事象の完了等を通知するだけのものであり、利用者が所望するデータ（結果情報）を直ちに利用者にポケットベルにより伝達表示するものではない。

【0005】 さらに、例えば特開昭 57-25071 号公報には、センタシステムの情報検索サービスを利用する情報検索システムにおいてポケットベルを利用することにより、第三者の利用を容易に検知し機密の保護を図ることを目的として、利用者が電話機から利用者識別番号、ポケベル番号、パスワードを入力し、中央処理装置が番号チェック後サービスが可能である時に利用者のポケベルを出し。利用者は電話機をオフ・フックし、応答番号をダイヤルし、ポケベル制御装置内でポケベル呼出し番号と比較され、一致がとれた場合のみ中央処理装置から回線を介して検索結果情報が得られるように制御している。しかしながら、この情報検索システムにおいてもポケベルは単に呼出制御のためにのみ用いられている。

【0006】 なお、宝くじ等の投票券の売買・照合を行なうためのシステムとして、例えば特開平 4-370879 号公報には、前払い式の磁気カードを挿入したカード端末装置を介して受付け、利用者が入力した投票番号と暗証番号とを固有番号を付与してホスト処理装置の記憶装置に格納し、且つ固有番号を磁気カードに記録しておき、投票券の当落の照合時にカード端末装置に挿入した固有番号と利用者が入力した暗証番号との照合後に投票番号の当落の照合を行ない、照合等の処理をキャッシュレスで行なうようにしたシステムが提案されている。このシステムは、コンピュータを利用した投票券の処理システムにおいて投票券の購入や照合を容易に行なうことを可能とするものであるが、カード端末装置から離れた任意の場所において利用者が所望する情報が入手され次第即時に利用者に伝達通知するための手段は開示されていない。

【0007】 また、特開昭 64-35660 号公報には、抽選券の賞金支払における有効期限の経過等による無効当選の削減を図るために、抽選券購入者の連絡先データ等個人識別データの入力手段を付加した構成が提案されている。

【0008】 以上の通り、上記従来例においては、任意

の場所にて利用者が所望する種別のデータを、該データが入手され次第利用者の希望する形式で即時に伝達するようなシステムは開示されていない。

【０００９】本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであって、従来の汎用的な情報を各個人に応じた専用のデータとして加工し、携帯端末（ポケベル）を通じて各利用者個人ヘリアルタイム（実時間）で情報を提示するシステムを提供することを目的とする。

【００１０】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明は、利用者が所望する情報の要求を予めセンタに登録し、前記センタが該センタに収集された情報から前記利用者が所望するデータに加工し、前記利用者が所持する携帯端末（ポケットベル）に対して情報を通知することを特徴とする情報提供システムを提供する。

【００１１】本発明は、好ましくは、前記センタが、電話回線を介して入力された予約情報を登録する手段と、予約情報に基づき当日の日付と予約日付とが一致した場合に当日の情報データを所定の区分に応じて更新する予約更新手段と、前記当日情報データの提供時刻が現在時刻と一致した際に情報データを読み込み前記利用者に応じて加工する監視手段と、前記利用者の個人情報に応じて前記加工されたデータを前記利用者が保持するポケットベルに転送する案内手段と、を備えたことを特徴とする。

【００１２】本発明は、好ましくは、前記現在時刻が予め定められた所定の運用時間帯の範囲内にある時に、前記当日情報データの提供時刻が現在時刻と一致するまで所定の時間間隔毎にウェイト処理を行なうことを特徴とする。

【００１３】

【作用】本発明によれば、利用者がその日に欲しい情報を予め予約登録しておくことにより、センタは情報を入手した時点で即時にデータを利用者の携帯端末（ポケベル）へ返信することができる。そして、利用者は所望する情報を携帯端末（ポケベル）介して受信することができる。

【００１４】

【実施例】図面を参照して、本発明の実施例を以下に説明する。

【００１５】図１は、本発明の一実施例に係るポケベルを利用した情報提供システムの処理の構成を説明する図である。本実施例は、電話機、パソコン、ファクシミリ装置（ＦＡＸ）等からなる情報予約手段２２からの情報を入力する予約登録手段１１、予約更新手段１２、当日監視手段１３、ポケベル２１に情報を提供する情報案内手段１４より構成される。

【００１６】図２は、図１の予約登録手段１１の処理を説明する図である。

【００１７】図２を参照して、情報提供システムを利用

するには、電話、パソコン、ＦＡＸ等の一般回線を利用し、情報提供の予約申請を行う。

【００１８】その際、予約申請で必要とされるデータは、利用者のポケベルのダイヤリング番号、所望する情報提供の日付、時刻、提供情報等の必要最小限の予約申請情報から成る。なお、情報提供日付、時刻については入力を省略することも可能であり、この時登録された予約申請情報は、予約情報入力端末２３を経て、本実施例の情報提供システムの情報予約データ２４として格納される。

【００１９】次に、図１の予約登録手段１１に入力登録された情報に基づき予約更新手段１２へ処理が移る。図３に、予約更新手段１２の処理動作を説明する流れ図を示す。

【００２０】図３を参照して、予約更新手段１２は、まず当日の日付を獲得する（ステップ３１）。

【００２１】続いて、予約登録手段１１にて作成された情報予約データ２４の読み込みを行う（ステップ３２）。

【００２２】次に、読み込データ判断処理（ステップ３３）が行われ、読み込まれた情報予約データが０件（処理すべきデータが無い）であるか、又は最終データ＋１件の条件（処理の終わり）を満たす場合には、予約更新手段の処理を終了する。

【００２３】ステップ３３の条件が満たされない場合には、情報予約データの予約日付と当日日付との差異判断を行う（ステップ３４）。

【００２４】その際、予約日付と当日日付が同一であれば当日情報提供テーブル作成処理を行う（ステップ３５）。また、当日日付と予約日付が食い違っていれば、当日情報提供テーブル作成処理を行わずに次のステップ３６へ移る。なお、当日情報提供テーブル２８は、情報予約データを時間帯別、利用者別に分類して格納するテーブルである。

【００２５】次に、情報予約データ読み込みを行い（ステップ３６）、再び読み込データ判断処理（ステップ３３）より処理を繰り返す。

【００２６】図１の予約更新手段１２の処理が終了すると、当日監視手段１３（図１参照）へ処理が移る。図４に、当日監視手段１３の処理動作を説明する流れ図を示す。

【００２７】図４を参照して、始めにシステム稼働予定ファイル５１の読み込みを行う（ステップ４１）。システム稼働予定ファイル５１には、本実施例に係る情報提供システムの運用開始時刻と運用終了時刻が格納されている。

【００２８】当日監視手段１３は、運用終了時刻を基に情報提供終了判断処理を行う（ステップ４２）。この判断処理では、システム稼働予定ファイル５１より読み込んだ運用終了時刻より現在時刻が越えている場合には、情報提供終了へ処理を移し、本日の情報提供システムの

稼働を終了させる（ステップ４９）。

【００２９】ステップ４２にて条件が満たされた場合（運用終了時刻 \geq 現在時刻）には、ステップ４３にてシステム稼働予定ファイル５１より読み込んだ運用時刻開始時刻よりも現在時刻が過ぎている場合、情報提供テーブル読込処理（ステップ４４）を行なう。

【００３０】当日情報提供テーブル読込処理（ステップ４４）では、予約更新手段１２にて作成された当日情報提供テーブル２８を読み込む。

【００３１】次に、情報提供データ作成判断処理を行なう（ステップ４５）。ステップ４５の判断処理において、当日情報提供テーブル２８より獲得した提供時刻と現在時刻が同じである場合には、各種情報マスタ読込へ処理を行なう（ステップ４６）。

【００３２】各種情報マスタ読込処理（ステップ４６）において、各種情報マスタ５３より利用者の提供希望情報を各種情報マスタより読み込み、利用者個人データの作成処理（ステップ４７）に移行する。

【００３３】利用者個人データの作成処理（ステップ４７）では、各種情報マスタより獲得した利用者の提供希望情報をポケベル用のデータへ加工し、利用者別個人データ５４を作成する。

【００３４】ステップ４５の判断処理において、当日情報提供テーブル２８より獲得した提供時刻と現在時刻が異なる場合には、ウェイト処理（ステップ４８）へ処理を移す。ウェイト処理では、一定時間の処理の待ち合わせを行い、待ち合わせの時間が経過すると情報提供データ作成判断処理（ステップ４５）へ処理を移し、再度判断処理を取り行う。

【００３５】当日監視手段１３（図１参照）にて、利用者別個人データが作成されると情報案内手段１４へ処理が移る。図５に、情報案内手段１４の処理動作を説明する流れ図を示す。

【００３６】図５を参照して、始めに待合せ回数の設定の処理を取り行う（ステップ６１）。この待合せ回数の設定処理では、ステップ６５のポケベルの応答状況判断処理の際に応答が無い場合の待ち合わせの回数を設定する処理である。

【００３７】待合せ回数の設定処理（ステップ６１）が終了すると利用者別個人データ読込処理（ステップ６２）へ移る。利用者別個人データ読込処理では、当日監視手段１３で作成した利用者別個人データ５４の読込みを行う。

【００３８】この読込処理が終了するとダイヤリング番号獲得処理（ステップ６３）において、利用者別個人データ読込処理（ステップ６２）で利用者別個人データ５４から獲得した利用者のポケベルのダイヤリング番号を獲得する。

【００３９】次に、ポケベルのダイヤリング処理（ステップ６４）にて利用者のポケベルへのダイヤリングを行

う。その際、ダイヤリングしたポケベルの応答があり、ポケベルにデータの転送が可能な場合には、個人データの転送処理（ステップ６６）において、利用者別個人データ読込処理（ステップ６２）にて獲得したデータを利用者のポケベルに対して転送することにより情報の提供を行い、利用者のポケベルの表示装置等にデータが表示される。

【００４０】また、ポケベルの応答情報の判定処理（ステップ６５）において、利用者が所持するポケベルの電源をオフとしたままであるか、又は電波が届かないような地域へ移動している場合には、待ち合わせ処理が行なわれる。すなわち、判断処理（ステップ６７）において待ち合わせの回数が０になるまでの間、ウェイト処理（ステップ６８）にて一定時間の待ち合わせを行った後、待ち合わせ回数を１減らし（ステップ６９）、再びポケベルのダイヤリング処理（ステップ６４）を行なう。

【００４１】上記実施例によれば、利用者が予め予約した情報データが得られ次第即時にポケベルに転送されるため、利用者は予め指定した所望の情報をリアルタイムに知ることができる。以上、本発明を上記実施例に即して説明したが、本発明は上記態様にのみ限定されるものでなく、本発明の原理に準ずる各種態様を含むことは勿論である。

【００４２】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、携帯端末（ポケベル）を利用することによりユーザに対して迅速な情報の提供を行うことにより下記記載の効果を有する。

【００４３】（１）利用者は予め指定した所望の情報をリアルタイムに知ることができる。

【００４４】（２）携帯端末（ポケベル）を利用することにより、情報の入手手段が簡易化される。

【００４５】（３）今後のシステムの拡大として、提供する情報に対する利用状況の把握を行うことも可能である。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の一実施例に係る情報提供システムの構成を示すブロック図である。

【図２】本発明の一実施例における予約登録手段における処理を説明する図である。

【図３】本発明の一実施例における予約更新手段の処理を説明する流れ図である。

【図４】本発明の一実施例における当日監視手段の処理を説明する流れ図である。

【図５】本発明の一実施例における情報案内手段の処理を説明する流れ図である。

【符号の説明】

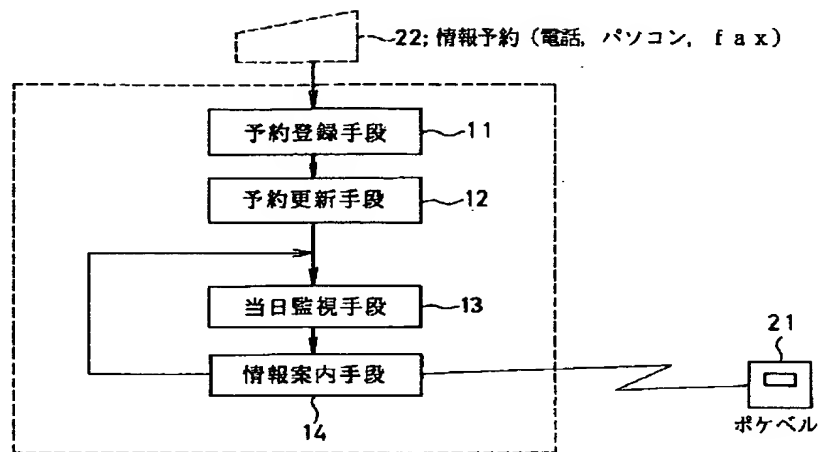
１１ 予約登録手段

１２ 予約更新手段

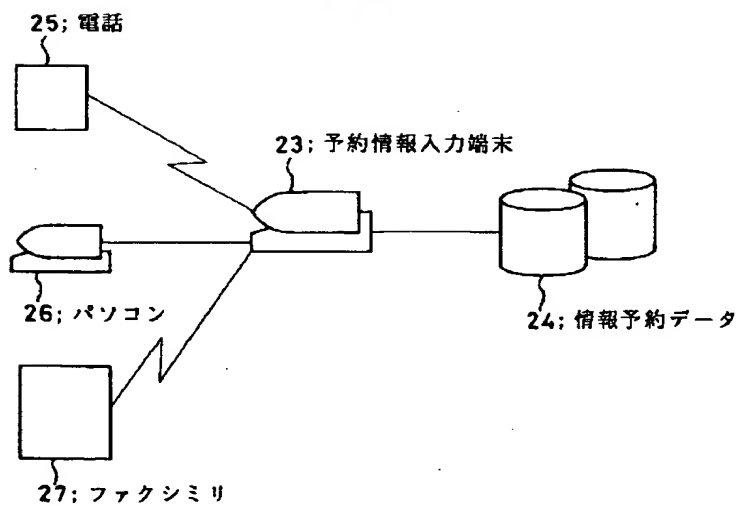
13 当日監視手段
 14 情報案内手段
 21 ポケットベル (ポケベル)
 22 情報予約手段
 23 予約情報入力端末
 24 情報予約データ
 25 電話

26 パソコン
 27 ファクシミリ
 28 当日情報提供テーブル
 51 システム稼働予定ファイル
 53 各種情報マスタ
 54 利用者別個人データ

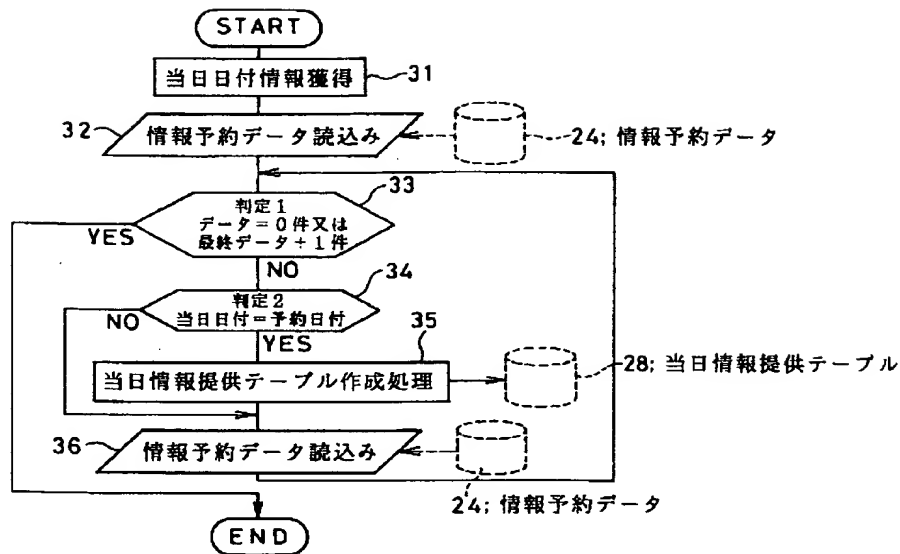
【図1】



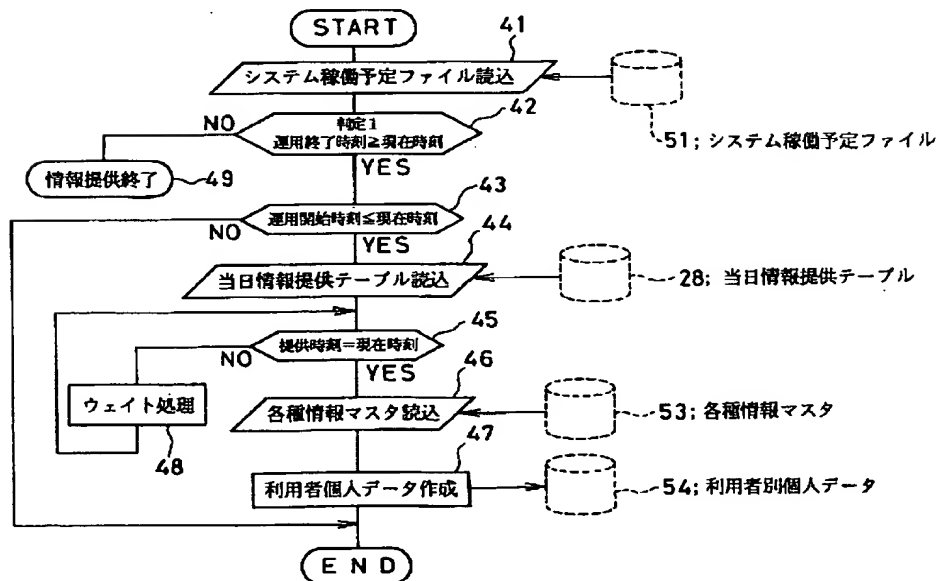
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

